

1. 名古屋大学医学部附属病院における特定行為研修の教育理念

名古屋大学医学部附属病院は、「診療・教育・研究を通じて社会に貢献する」ことを理念としています。本院は、特定機能病院として、看護師特定行為研修（以下「特定行為研修」とする）を通して地域医療の質向上に貢献し、安全で安心な医療を提供できる人材を育成することを目的とします。特定行為研修は、患者及び国民そして医師・歯科医師やその他の医療関係者から期待される役割を担うために、急性期医療や在宅医療の現場において高度な臨床実践能力を発揮できる看護師を養成する基盤を構築するものです。そして、特定行為研修を通して、社会的責任と役割を自覚し新たな医療の発展に寄与することを目指します。

2. 名古屋大学医学部附属病院における特定行為研修の目標

- 1) 地域医療及び高度医療の現場において、迅速かつ包括的なアセスメントを行うための、知識、技術及び態度の基礎的な能力を養う。
- 2) 患者の安全に配慮し、臨床判断を適切なタイミングで行い、必要な特定行為を実施できる能力を養う。
- 3) 患者の状態に応じた適切な医療を、多職種と協働して提供するための能力を養う。

3. 特定行為研修の特色

卒後臨床研修・キャリア形成支援センターに所属する各学会認定の指導医・専門医資格を有する医師を中心とし、専門看護師・認定看護師・特定行為研修を修了した看護師による講義・演習・実習を行います。共通科目・区分別科目は、e-learningを活用することで効率的に繰り返し学習ができ、臨床実践が円滑になるように学習環境や指導者のサポート体制を充実させ、学習効果が高められるよう支援します。

4. 研修概要

特定行為研修は、全ての特定行為区分に共通する「共通科目」と各特定行為に必要とされる能力を身につけるための「区分別科目」に分かれており、研修は、講義、演習、実習によって行われます。なお、区分別科目の受講は、共通科目の履修修了が条件となります。当院の特定行為研修の研修は全部で8コースです。

- 1) 共通科目：特定行為区分に共通して必要とされる能力を身につけるための科目
(研修期間の目安：6か月)

共通科目名	時間数
臨床病態生理学	30 時間
臨床推論	45 時間
フィジカルアセスメント	45 時間
臨床薬理学	45 時間
疾病・臨床病態概論	40 時間
医療安全学	45 時間
特定行為実践	
合計時間数	250 時間

*e-learning による講義は自宅または名古屋大学医学部附属病院内特定行為研修室での視聴が可能です。

*演習・実習等は集合形式で実施します。

- 2) 区分別科目：各特定行為に必要とされる能力を身につけるための科目
(研修期間の目安：6か月)

NO.	区分別科目	時間数 (e-learning、演習)
①	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	9 時間
②	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	29 時間
③	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	8 時間
④	循環器関連	20 時間
⑤	胸腔ドレーン管理関連	13 時間
⑥	腹腔ドレーン管理関連	8 時間
⑦	ろう孔管理関連	22 時間
⑧	栄養に係るカテーテル管理 (中心静脈カテーテル管理) 関連	7 時間
⑨	栄養に係るカテーテル管理 (末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理) 関連	8 時間
⑩	創傷管理関連	34 時間
⑪	創部ドレーン管理関連	5 時間
⑫	動脈血液ガス分析関連	13 時間
⑬	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	16 時間
⑭	感染に係る薬剤投与関連	29 時間
⑮	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	16 時間
⑯	術後疼痛管理関連	8 時間
⑰	循環動態に係る薬剤投与関連	28 時間
⑱	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	26 時間

*時間数：筆記試験、OSCE（実技試験）、実習の時間は含まず

5. 開講コース

1) 領域コースと募集定員について

以下の8つの領域コースを開講しています。

各領域コースの募集定員は5名です。

次の(1)～(8)の領域コースの中から1つ選択してください。

また、申し込み後の領域コースの変更、区分の追加・削除は受け付けません。

- (1) 外科系基本領域コース
- (2) 外科術後病棟管理領域コース
- (3) 集中治療領域コース
- (4) 救急領域コース
- (5) 術中麻酔管理領域コース
- (6) 在宅・慢性期領域コース
- (7) 創傷管理領域コース
- (8) 感染症管理領域コース

2) 領域コースの選択について

上記(1)～(6)の開講コースに関しては、厚生労働省が提示する領域別パッケージに準じています。ただし、免除される行為はありません。

(6)在宅・慢性期領域コース、(7)創傷管理領域コース、(8)感染症管理領域コースは必修と選択に分かれています。必修は必ず受講するものとし、選択は必要に応じて受講することが可能です。

3) 実習について

区分別科目の実習は、原則自施設で行います。

各特定行為に対して5症例ずつの実習が必要になるため、指導医^{※1}の協力が得られ、自施設^{※2}で症例が取れるコースを選択してください。

※1 指導医とは

(1)を満たし、かつ、(2)又は(3)を満たしている医師・歯科医師のこと。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">(1) 臨床経験年数7年以上(2) 「医師の臨床研修に係る指導医講習会」を受講している(3) 学会認定の「指導医」を有する |
|---|

※2 自施設とは

受講生が勤務する施設、または、実習を受け入れても良いと調整が済んでいる関連施設のこと。

【領域コース概要】

コース	区分別科目	定員
(1) 外科系基本領域	⑧栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連 ⑩創傷管理関連 ⑪創部ドレーン管理関連 ⑫動脈血液ガス分析関連 ⑬栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 ⑭感染に係る薬剤投与関連 ⑯術後疼痛管理関連	5名
(2) 外科術後病棟管理領域	①呼吸器（気道確保に係るもの）関連 ②呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 ③呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連 ⑤胸腔ドレーン管理関連 ⑥腹腔ドレーン管理関連 ⑧栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連 ⑨栄養に係るカテーテル管理 （末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連 ⑪創部ドレーン管理関連 ⑫動脈血液ガス分析関連 ⑬栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 ⑯術後疼痛管理関連 ⑰循環動態に係る薬剤投与関連	5名
(3) 集中治療領域	①呼吸器（気道確保に係るもの）関連 ②呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 ④循環器関連 ⑧栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連 ⑫動脈血液ガス分析関連 ⑬栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 ⑮血糖コントロールに係る薬剤投与関連 ⑯術後疼痛管理関連 ⑰循環動態に係る薬剤投与関連 ⑱精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	5名

コース	区分別科目		定員
(4) 救急領域	①呼吸器（気道確保に係るもの）関連 ②呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 ⑫動脈血液ガス分析関連 ⑬栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 ⑱精神及び神経症状に係る薬剤投与関連		5名
(5) 術中麻酔管理領域	①呼吸器（気道確保に係るもの）関連 ②呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 ⑫動脈血液ガス分析関連 ⑬栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 ⑯術後疼痛管理関連 ⑰循環動態に係る薬剤投与関連		5名
(6) 在宅・慢性期領域	必修	⑬栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	5名
	選択	③呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連 ⑦ろう孔管理関連 ⑩創傷管理関連 ⑮血糖コントロールに係る薬剤投与関連 ⑱精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	
(7) 創傷管理領域	必修	⑩創傷管理関連 ⑬栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	5名
	選択	⑪創部ドレーン管理関連	
(8) 感染症管理領域	必修	⑬栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 ⑭感染に係る薬剤投与関連	5名
	選択	⑧栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連 ⑨栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	

6. 修了要件

本研修を修了するためには、次の条件を満たすこと。

- 1) 共通科目をすべて履修し、筆記試験に合格すること
- 2) 上記修了後、選択した区分別科目を履修し、筆記試験、実技試験、観察評価に合格すること

7. 研修期間 2022年7月1日(金) ～ 2023年6月30日(金) 1年

(1)、(3)～(8)の領域別コースについては共通科目6ヶ月、区分別科目6ヶ月、計1年(最長在籍期間は2年)とします。

ただし、(2)外科術後病棟管理領域コース、(3)集中治療領域コースに限り、共通科目6ヶ月、区分別科目1年、計1年6ヶ月(最長在籍期間は2年6ヶ月)とします。

8. 出願資格

次の各号に定める要件をすべて満たしていること。

- 1) 看護師免許を有すること
- 2) 看護師免許取得後、通算5年以上の実務経験を有すること
- 3) 施設長の推薦を有すること

9. 出願手続き

1) 募集期間

2022年 2月 1日（火）～ 2022年 3月 1日（火）（当日必着）

追加募集の募集期間

2022年 3月 4日（金）～ 2022年 4月 4日（月）（当日必着）

2) 募集要項請求方法

名古屋大学医学部附属病院看護キャリア支援室ホームページ「名古屋大学医学部附属病院 特定行為研修」から必要書類をダウンロードしてください。

看護キャリア支援室ホームページ <https://nuh.can-career.nagoya/>

【出願提出書類】

- 1) 志願書
- 2) 履歴書
- 3) 志願理由書
- 4) 推薦書
- 5) 実習施設情報
- 6) 認定看護師認定証あるいは専門看護師認定証等の写し（該当者のみ）
- 7) 特定行為研修修了証等の修了を証明する書類（該当者のみ）
- 8) 看護師免許の写し（A4サイズに縮小）
- 9) 受験票返送封筒（受験票返送先の住所、氏名、郵便番号を明記した長3の封筒に送料用切手420円〈簡易書留料金〉を貼付）

【出願書類提出先】

〒466-8560 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

名古屋大学医学部附属病院 卒後臨床研修・キャリア形成支援センター
看護キャリア支援室 特定行為研修担当

* 「特定行為研修受講申請書類在中」と朱書きし「郵便書留」で送付して下さい。

10. 審査料

10,185円（税込み）

* 申込書受領後、書類選考結果と一緒に振込用紙を郵送します。

11. 選考方法

書類審査、面接

面接日時 2022年 3月 25日（金）9時30分～（予定）

追加募集の方の面接日時 2022年 4月 18日（月）9時30分～（予定）

12. 合否発表

選考結果につきましては、2022年4月上旬頃、簡易書留速達にて郵送します。

追加募集の方の選考結果につきましては、2022年4月22日頃までに、簡易書留速達にて郵送します。なお、電話、FAX、メール等による合否のお問い合わせの対応は受け付けておりません。

13. 受講手続きについて

1) 合格者の方には受講手続き等の書類について郵送します。

2) 受講手続き期間

2022年 4月 11日 (月) ～ 2022年 5月 6日 (金)

追加募集の方の受講手続き期間

2022年 4月 25日 (月) ～ 2022年 5月 18日 (水)

3) 受講料

*別紙1と2を参照してください。

*受講料は、受講手続き後に送付される専用振込用紙(専用振込用紙以外でも可)にて振り込み願います。最初の振り込みは、共通科目の受講料のみです。

*区分別科目の受講料の納付は、共通科目終了後になります。

*振込手数料は振り込み者の負担となるのでご注意ください。

*一旦納めた受講料は原則として返還しませんのでご了承ください。

*研修期間中において、「看護職賠償責任保険制度」への加入を強く推奨します。

14. 個人情報の取り扱いについて

名古屋大学医学部附属病院では、「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、個人情報の適切な取り扱いに努め、安全管理のために必要な措置を講じております。出願及び受講手続きにあたって提供いただいた個人情報は、選考試験の実施、合格発表、受講手続き、履修関係等に必要な業務に限り使用させていただきます。なお、当院が取得した個人情報は、法律で定められた適正な手続きにより開示を求められた場合以外に本学の承諾なしに第三者へ開示・提供することはありません。

*提出されました書類は原則として返却いたしませんので、ご了承ください。

15. 給付金等について

本学の看護師特定行為研修は、一般教育訓練講座の指定を受けており、厚生労働省教育訓練給付金制度(一般教育訓練)が利用できます。詳細は下記にてご確認ください。

厚生労働省 HP パンフレット <https://www.mhlw.go.jp/content/000588319.pdf>

看護キャリア支援室ホームページ <https://nuh.can-career.nagoya/>

別紙1

1. 共通科目受講料 457,600 円 (税込み)

2. 区分別科目 領域コース受講料

コース	区分別科目	受講料 (税込み)
(1) 外科系基本領域	⑧栄養に係るカテーテル管理 (中心静脈カテーテル管理) 関連 ⑩創傷管理関連 ⑪創部ドレーン管理関連 ⑫動脈血液ガス分析関連 ⑬栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 ⑭感染に係る薬剤投与関連 ⑯術後疼痛管理関連	373,340 円
(2) 外科術後病棟管理領域	①呼吸器 (気道確保に係るもの) 関連 ②呼吸器 (人工呼吸療法に係るもの) 関連 ③呼吸器 (長期呼吸療法に係るもの) 関連 ⑤胸腔ドレーン管理関連 ⑥腹腔ドレーン管理関連 ⑧栄養に係るカテーテル管理 (中心静脈カテーテル管理) 関連 ⑨栄養に係るカテーテル管理 (末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理) 関連 ⑪創部ドレーン管理関連 ⑫動脈血液ガス分析関連 ⑬栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 ⑯術後疼痛管理関連 ⑰循環動態に係る薬剤投与関連	524,260 円
(3) 集中治療領域	①呼吸器 (気道確保に係るもの) 関連 ②呼吸器 (人工呼吸療法に係るもの) 関連 ④循環器関連 ⑧栄養に係るカテーテル管理 (中心静脈カテーテル管理) 関連 ⑫動脈血液ガス分析関連 ⑬栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 ⑮血糖コントロールに係る薬剤投与関連 ⑯術後疼痛管理関連 ⑰循環動態に係る薬剤投与関連 ⑱精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	568,040 円

コース	区分別科目		受講料 (税込み)
(4) 救急領域	①呼吸器（気道確保に係るもの）関連 ②呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 ⑫動脈血液ガス分析関連 ⑬栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 ⑱精神及び神経症状に係る薬剤投与関連		304,480 円
(5) 術中麻酔管理領域	①呼吸器（気道確保に係るもの）関連 ②呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 ⑫動脈血液ガス分析関連 ⑬栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 ⑯術後疼痛管理関連 ⑰循環動態に係る薬剤投与関連		339,570 円
(6) 慢性期領域 在宅・	必修	⑬栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	52,690 円
	選択	③呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	30,800 円
		⑦ろう孔管理関連	70,290 円
		⑩創傷管理関連	105,380 円
		⑮血糖コントロールに係る薬剤投与関連	52,690 円
	⑱精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	83,490 円	
(7) 創傷管理領域	必修	⑩創傷管理関連 ⑬栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	158,070 円
	選択	⑪創部ドレーン管理関連	22,000 円
(8) 感染症管理領域	必修	⑬栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 ⑭感染に係る薬剤投与関連	144,870 円
	選択	⑧栄養に係るカテーテル管理 （中心静脈カテーテル管理）関連 ⑨栄養に係るカテーテル管理 （末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	26,400 円 30,800 円

* 選択科目を履修する場合は、必修科目の受講料に選択科目分が追加となります。

別紙2

区分別科目 受講料一覧

NO.	区分別科目	受講料 (税込み)
①	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	32,230 円
②	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	92,180 円
③	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	30,800 円
④	循環器関連	65,890 円
⑤	胸腔ドレーン管理関連	43,890 円
⑥	腹腔ドレーン管理関連	30,800 円
⑦	ろう孔管理関連	70,290 円
⑧	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	26,400 円
⑨	栄養に係るカテーテル管理 （末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	30,800 円
⑩	創傷管理関連	105,380 円
⑪	創部ドレーン管理関連	22,000 円
⑫	動脈血液ガス分析関連	43,890 円
⑬	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	52,690 円
⑭	感染に係る薬剤投与関連	92,180 円
⑮	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	52,690 円
⑯	術後疼痛管理関連	30,800 円
⑰	循環動態に係る薬剤投与関連	87,780 円
⑱	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	83,490 円